

スペシャルすまいる

No. 58
2019 January

NIKKO City Council of Social Welfare

Public Relations Magazine "SPECIAL SMILE" of Nikko-Shakyo



『まちの縁側』を探して地域を歩いたら、こんな素敵な居場所を見つけたッキー♪
ヒト(人間)・モノ(空間)・トキ(時間)がつながり合う「地域の居場所」=『まちの縁側』



日光市社会福祉協議会
イメージキャラクター「ニッキー」



この広報紙の発行にはみなさまから
ご協力いただきました赤い羽根共同募金の
配分金が使用されています。

CONTENTS

● 会長年頭あいさつ	2ページ
● 4市社協活動報告	3ページ
● 私の地域の福祉活動(栗山、湯西川、藤原、三依)	4～5ページ
● ふくまち助成金募集	6ページ
● 大人のためのボランティア募集	6ページ
● 車いすボランティア募集	6ページ
● まちの縁側事業	6ページ
● 会費報告	7ページ
● 寄附報告及び制度周知	7ページ
● 義援金報告	7ページ
● 社会福祉大会案内	8ページ

2019 新年のごあいさつ

「誰もが安心して暮らすことのできる
福祉のまちづくりを目指して」

社会福祉法人 日光市社会福祉協議会

会長 高 橋 務



新年、明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、希望に輝く新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、日光市社会福祉協議会に対しまして多大なるご支援・ご協力をいただき謹んで感謝申し上げます。

さて、わが国では、「地域共生社会の実現」が今後の福祉施策のコンセプトとされ、複合化・複雑化した地域生活課題に対応する包括的な支援体制の整備などの取組みが本格的に展開されることとなります。そして、地域共生社会の実現に向けた「地域づくり」の方向性と目指す姿は、多様なものであり、それぞれの地域における創意工夫が求められています。

本会は、長年にわたり地域の皆様とともに、地域づくりと地域生活課題に対応する事業・活動を展開してきたという実践の蓄積とノウハウ、関係機関やさまざまな活動主体とのネットワークを有しているという強みがあります。

この強みを活かし、日光市における包括的な支援体制の構築における協働の中核を担い、地域福祉の推進をつうじた「地域共生社会の実現」に資する役割を实践として示して行く所存でございますので、市民の皆様におかれましては、引き続き本会に対しましてご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとってすばらしい年になりますことをお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



災害時における更なる「連携・強化」をめざして

今日、大規模な自然災害により日本各地においても人的・物的被害が多発しています。こうした中、被災地（者）支援に関わる社会福祉協議会（以下、社協）では災害復旧・復興に向けた「災害ボランティアセンター」（以下、災害VC）を設置し、被災者の困りごと相談や、全国から駆けつけるボランティアを受け入れ、支援活動に取り組むことが全国的にも浸透し、災害時のボランティア活動は重要なものとして考えられています。

今回は、「災害時等における相互支援活動に関する協定」を締結している県外3社協（福島県相馬市社協、新潟県妙高市社協、宮城県東松島市社協）と平成30（2018）年11月15日（木）～16日（金）に実施した「災害支援マネジメント研修」について報告します。

災害支援マネジメント研修とは

協定締結をしている3社協と日光市社協の更なる連携強化及び災害時における各社協の対応力向上のほか、災害VC設置・運営にかかる人材育成等を目的として今年（2018）より始まった研修です。

年1回の開催を原則として、3年間の継続研修を予定しています。



《講師の相馬市社協・今野常務理事》



《災害VC設置について協議する各社協職員》

研修内容について

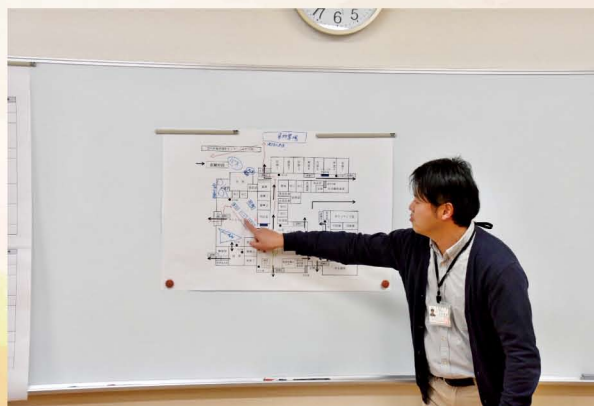
今年度は、日光市を会場として2日間に渡り研修を実施しました。

研修1日目では、災害VCの機能と役割について理解を深めるとともに、具体的に災害VC開設までに必要な準備、段取り等について学びました。

研修2日目では、図上にて災害VC設置シミュレーション（設置場所の想定、レイアウト等）を行い、設置・運営に必要な資機材等の確保方法や、マニュアルにない事項への対応等について考えを深めました。

今後の災害支援体制強化に向けて

災害発生から復旧・復興に向けた取り組みでは、各組織、職員、関係機関、ボランティア活動者や地域がしっかりとつながり、連携した活動を行っていくことが重要です。特に、災害時に設置・運営をする災害VCでは、こういった多機関との連携により活動を展開していくことが求められています。今回の研修では、改めて災害VCの必要性と役割を学ぶとともに、災害時の支援に向けて日常の取り組みの重要性を理解することができました。今後も、災害支援体制強化に向けた研修の実施と、人材育成に努めていきます。



《災害VCのレイアウトについて発表する様子》

私の地域の福祉活動（栗山）

栗山 湯西川地区

～ 住民主体のまちづくり実践 ～

【クリヤマルシェ2018開催!!】

栗山地区・湯西川地区では、実行委員会を中心に準備を進め、10月20日(土)にクリヤマルシェ2018を開催しました。

今年は晴天にも恵まれ、地区内から24店、地区外から20の出店者が集まり、当日は1,000人以上の方が来場されました。賑やかな雰囲気のもと子どもから高齢者まで様々な人達の交流が深められ、栗山地域の魅力の発信と住民活動の活性化が図られています。



【旧保育園を活用した住民活動】

栗山地区社会福祉協議会では、使われなくなった旧保育園跡地を活用し、様々な地域活動を展開しています。今年は「花街道23プロジェクト」や「お香サロン」など、モノづくりをとおして住民同士の交流や楽しみ、生きがいがづくりなどを行いました。

地域みんなが気軽に集まり、楽しみながら活動ができる場にしていきたいと思ひます。



【栗っ子出前講座 開催中!!】



“栗っ子”出前講座

手引き

栗山地区社会福祉協議会では、栗山地区・湯西川地区区内限定の出前講座を開設しています。講師は、地域内で活動している福祉関係者、警察官、地域おこし協力隊や特技や趣味をもつ住民の方が担っています。

現在、19の講座メニューがあり、地域のちょっとした集まりや会議の場などで利用されています。

【栗っ子未来募金!!】

わたしたちは
栗山が大好きだから
ここに住んでいる皆さんが
幸せになる「まちづくり」に
挑戦していきます。
よかったです
その挑戦を応援してください。

“栗っ子未来募金”

栗山地区社会福祉協議会の挑戦

栗山地区社会福祉協議会では、クリヤマルシェの開催をはじめ、すべての住民が、安心して豊かな生活が出来るように様々な事業や活動を展開しています。この取り組みを止めないためにも、そして更なる活動の発展に繋げていくためにも、皆様に応援ををお願いしております。

あなたの「募金」が
栗山を支える。

主催：栗山地区社会福祉協議会

栗山・湯西川地区の未来を考える・創る・応援する募金として、今年から栗山地区社協では独自の募金活動を始めています。現在、ご協力をいただいた飲食店や道の駅などに募金箱を設置し、集められた募金は全て栗山地区社協の活動費に充てられます。

山・湯西川・藤原・三依)

藤原 三依地区

～ 広がる、つながる “集いの場” ～

【おたのしみ会（藤原地区）】

第1・3火曜日 10:00～12:00
藤原福祉センター（ふじの郷）中会議室
参加費：月100円（イベント時は別途）

体操や歌を歌った後に茶話会を楽しんでいます。
お花見やクリスマスなど季節のイベントも行っています。



【ちょきんアップ体操（藤原地区）】

毎週月曜日 14:00～15:30
藤原福祉センター（ふじの郷）中会議室

椅子に座ったまま、音楽に合わせてゆっくりと体操を行います。「足取りが軽くなった」「動いてもすぐ疲れなくなった」などの効果が出ている人もいます。



【にこにこ元気会（藤原地区）】

不定期開催 川治たんぽぽ広場他
参加費：1回100円（イベント時は別途）

2～3ヶ月に1回程度集まり、体を動かしたり四方山話などを聞いたりした後、茶話会をしています。
暖かい時期には屋外でフリーマーケット等も行っています。



【ミニグラウンドゴルフサロン(三依地区)】

第1・3火曜日 10:00～12:00
※冬期期間中（12月～2月）は休み
旧三依保育園の園庭

地域おこし協力隊が主催で、毎回10名程度の参加者が集まるサロン活動です。グラウンドゴルフをしたり、談笑しながらお茶をのんだり、のんびりと交流しています。



平成31年度（2019年度）「にっころ福祉のまちづくり活動事業」モデル事業実施団体募集

地域住民及び地域の団体等が主体的に行う「地域の支え合い活動」で、市内に普及させたい先駆的活動をモデル事業として支援(助成)を行います。

【対象事業(活動)】

- ①「地域の福祉課題を解決する活動」
- ②「地域福祉活動計画に位置づけられた活動」
- ③「高齢者の介護予防を目的とした先駆的活動」

【対象事業実施期間】 2019年4月1日から2020年3月31日の間に実施する事業

【対象団体】 市内で活動する社会福祉法人、NPO法人、ボランティア団体・市民活動団体など

【助成金額】 対象経費総額の10分の10以内の額(上限10万円、1,000円未満切捨て)

【申込み】 2019年1月31日(木)までに申請書類を社会福祉協議会各支所へ提出(期限厳守)

【問い合わせ先】 日光市社会福祉協議会 (TEL: 0288-21-2759)

詳細はホームページにてご確認ください。 <http://www.shakyo-nikko.or.jp/>

※申請にはにっころ福祉のまちづくり推進委員会の推薦が必要となるため、申請書類提出後ににっころ福祉のまちづくり推進委員会において推薦を行います。その後、事務局で選考を行い、助成可否を決定します。助成可否は2019年4月下旬に案内します。

大人のためのボランティア学校講座受講者募集

日光市の福祉の現状とボランティアの基礎を知り、そして自身でも気づかない"できる"ことを体験できる「助け合い体験ゲーム」を通じ、地域活動へ参画する機会を作るために、大人のボランティア学校の受講者を募集します。

- 日 時/平成31年2月19日(火) 10:00～12:00
- 場 所/大沢公民館 会議室
- 対 象/ボランティア活動に関心のある方及び実践者
- 定 員/50名(先着順・要申込)
- 料 金/無料
- 申込方法/日光市社会福祉協議会へ電話または来所により申し込む
- 申込期間/平成30年12月25日(火)～平成31年2月8日(金)
- 内 容(予定)
 - (1) 講話「助け合いとボランティア活動」
 - (2) ワークショップ「新・助け合い体験ゲーム」

※新・助け合い体験ゲームとは・・・
普段の生活の中でしてほしいこと(助けてほしいこと)が書かれたカードを用いて実際に助け合いを体験できるゲームです。

車いすボランティア入門講座受講者募集

ボランティア活動の基本と役割及び具体的な車いすの介助方法を学ぶことで、地域に根ざしたボランティアの育成のために、車いすボランティア入門講座の受講者を募集します。

- 日 時/平成31年3月6日(水) 9:30～12:00
- 場 所/日光東照宮内(天候により変更になります。)
- 対 象/ボランティアに関心があり、市内に在住または勤務している方
- 定 員/15名(先着順・要申込)
- 料 金/無料
- 申込方法/日光市社会福祉協議会へ電話または来所により申し込む
- 申込期間/平成30年12月25日(火)～平成31年2月15日(金)
- 内 容(予定)
 - (1) 講話「ボランティアとは」
 - (2) 実技「車いす介助体験」

「車いすボランティア」を随時募集しています！
皆が歩きやすい日光を目指して・・・あなたも、そのチカラを活かしてみませんか？
ご不明な点がございましたら、気軽にお問い合わせください。

*詳しくは、下記問合せ先までご連絡ください。
【問い合わせ先】 日光市社会福祉協議会 (TEL: 0288-21-2759)

地域交流の場・居場所を探しています！！

今市地域(今市・落合・豊岡・大沢・塩野室)では、地域で楽しく暮らし続けるための居場所作りの一環として『まちの縁側』を推進しています。

生活スタイルの変化や価値観の多様化に伴い地域のつながりが希薄化しています。
そこで地域とのつながりの再構築を図る地域の居場所として『まちの縁側』を推進しています。

『まちの縁側』としてご協力いただける方、またそういった交流の場をご存知の方がいらっしゃいましたらご連絡ください。

【問い合わせ先】 日光市社会福祉協議会 (TEL: 0288-21-2759)



(まちの縁側のシンボルとなる木片)

社会福祉協議会会員 会費募集結果のご報告

総額 12,924,400円

平成 30 年度の社会福祉協議会会費募集につきましては、多くの市民・事業者等の皆さまのご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この会費は、本会及び地区社協の活動を支える貴重な財源として、各種事業や会の運営に活用させていただきます。

今後も、皆さまの参加を得て、「誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり」を目指した組織・事業運営を進めてまいりますので、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

皆さまのお気持ちありがとうございます

平成 29 年度は、**4,018,146円**の寄付をいただきました。

税制上の優遇措置について

日光市社会福祉協議会は、社会福祉法人となっており、本会に対する寄付には、所得税法による寄付金控除、法人税法による寄付金の損金算入等の優遇措置があります。

※寄付金控除計算式※(個人の場合)

寄付金額 - 2,000円 = 年間所得総額から控除される金額

(詳しくは、市税務課又は管轄税務署にご確認ください。)

※控除を受けるためには、確定申告を行う必要があります。



寄付金は、本会の活動を支える重要な財源です。金額の多少を問わず、年間を通じて受け付けておりますので、みなさまのお気持ちをお寄せください。

たとえば、こんな寄付をいただいています。

- ・町内会、趣味の会、企業などのイベントでの収益を
- ・個人的な記念日等にあわせて、毎年一定の額を
- ・店頭に募金箱を置いて、集まったお金を
- ・冠婚葬祭でいただいた慶祝金や弔慰金の一部を
(また、返礼の代わりとして)

寄附報告

平成 30 年 9 月 1 日～平成 30 年 11 月 30 日

(一般寄附)

順不同・敬称略

取扱	寄附者名	金額(円)
本所	今市陶友会	20,000
本所	NPO法人日本入れぬりサイクル協会	11,718
今市	今市公民館 ふれあい教室	1,180
今市	日光市グラウンドゴルフ協会	9,500
今市	今市公民館 いきいき教室	8,020
今市	社会福祉法人三光会 特別養護老人ホーム 誠心園	9,400
今市	今市公民館初心者登山教室	4,467
今市	宇都宮ヤクルト販売株式会社	54,000
日光	日光市商店連合会	10,000
足尾	高橋 明美	10,000

(物品寄附)

順不同・敬称略

取扱	寄附者名	品名
本所	町田 正明	球根

「平成 30 年 7 月豪雨災害義援金」のお礼と中間報告

11月30日現在 **累計額 1,869,239円**

★義援金受付期間：平成30年7月11日～平成30年12月28日
★募金箱設置・受付窓口：日光市役所市民課、各行政センター市民サービス係
社会福祉協議会本所、各支所(栗山支所を除く)

(順不同・敬称略)

地域	名称	金額(円)
今市	高橋 隈	50,000
	手代木会	11,000
	栃木県立今市高等学校	27,305
	日光市地域婦人連絡協議会	30,000
	朝日町自治会	21,900
	日光山遊会(代表 高野 陽)	10,000
	日光市自治会連合会	960,750
	小倉公民館 館長 伊藤一哲	14,171
	平成町自治会 星正男	39,488
	藤原	日光明るい社会づくり運動協議会
日光	中三依自治会	2,861
	社会福祉法人 晃友会 きびたき荘職員及び利用者家族一同	21,267
	矢野美枝子絵手紙教室 生徒及び絵手紙展来場者	47,725
栗山	上栗山自治会	7,000

「平成 30 年北海道胆振東部地震災害義援金」のお礼と中間報告

11月30日現在 **累計額 347,214円**

★義援金受付期間：平成30年9月19日～平成31年3月29日
★募金箱設置・受付窓口：日光市役所市民課、各行政センター市民サービス係
社会福祉協議会本所、各支所(栗山支所を除く)

(順不同・敬称略)

地域	名称	金額(円)
今市	日光市女性防火クラブ連合会	21,510
	ボーイスカウト今市第2団	95,738
藤原	中三依自治会(秋祭り)	3,301
日光	矢野美枝子絵手紙教室 生徒及び絵手紙展来場者	47,925
日光	社会福祉法人 晃友会 きびたき荘職員及び利用者家族一同	5,203

皆さまのお気持ち
ありがとうございます



お預かりした義援金は全額、日本赤十字社栃木県支部に送金いたします。(日本赤十字社を通じ被災地に配分されます。)

日時

平成 **31** 年 **2** 月 **2** 日 (土)

午後 **1** 時 ~ **3** 時 **30** 分

会場

日光市今市文化会館

入場無料

【手話通訳・要約筆記・託児あります】

第十三回

日光市社会福祉大会

記念講演

「木久蔵流 笑うが一番」

〔落語家〕

林家 木久蔵 氏



1995年林家木久蔵(初代)「現・木久扇」に入門し、1999年に二ツ目昇進。2000年に日本テレビ「笑点」若手大喜利に出演、MVPを獲得する。2007年には、教育評論社より木久扇との共著「がんばらない子育て」を出版。また真打ち昇進に伴い、落語界史上初「ダブル親子襲名」を行い、二代 林家木久蔵を襲名する。現在は古典落語を中心に演じ、TV、講演会等で幅広く活躍中。

■日 程■

第一部 13:00 ~ 式典(日光市社会福祉協議会会長表彰)

第二部 13:40 ~ 議事(大会宣言)

第三部 14:00 ~ 記念講演

■主催：日光市社会福祉協議会 ■後援：日光市
【お問い合わせ先】社会福祉法人 日光市社会福祉協議会
〒321-1261 日光市今市 511-1
(TEL)0288-21-2759 (FAX)0288-21-3110

スペシャルすまいる

No.58 2018.12.25

■編集・発行／社会福祉法人日光市社会福祉協議会
〒321-1261 栃木県日光市今市 511-1 (日光市役所春日町庁舎内)
TEL 0288-21-2759 / FAX 0288-21-3110
ホームページアドレス <http://www.shakyo-nikko.or.jp>
印刷：(有)高橋平版社